

第 44 回中国ミニバスケットボール大会 出場報告書

西浦ミニバス

保護者代表 富永麻衣

私たち西浦ミニバスは、2月23～24日に鳥取県で開催された、第44回中国ミニバスケットボール大会に山口県代表として出場しました。

2月23日は青谷MBC(鳥取県)と島根マリン(島根県)とのリーグ戦でした。

初戦の青谷MBCとの戦いは非常に悔しい敗戦となりました。『1回戦は絶対に勝ちたい』という強い気持ちをもって試合に挑みましたが、中国大会という雰囲気の中でいつもとは違う緊張感がありました。粘り強いディフェンスや気迫あふれるプレーも多くあり、前半は5点リードで終わりました。後半は点を決めては追いつかれ、なかなか点差を広げることができませんでした。勝負を決めたのはラスト1分半からでした。自分たちのミスから逆転され、追いつこうと必死で食らいつきましたが、シュートを決めきれず、惜しくも3点差で負けてしまいました。リードしていた試合で、最後勝ちきれなかったのはとても悔しく、涙する選手もいました。

2戦目の島根マリンは背の高い選手が多いチームでした。ゴール下には常に背の高い選手が待ち構えており、そんな中でいいプレーもありましたが、点をとることはかなり苦戦しました。ディフェンスも体を張って頑張っていました。スピードあるプレーをとめることが難しく、リバウンドもなかなかとれず、厳しい戦いで敗戦となりました。走り負けない体力も必要だと痛感しました。

2月24日は3位グループでの戦いとなりました。初戦は浜坂(鳥取県)との戦いでした。中国大会で1勝したいという気持ちが全員にあらわれ、コートの中もベンチも雰囲気良く、西浦らしい試合ができました。全員で攻めて、全員で守ることができており、勝利につながったと思います。念願の1勝、喜びは大きかったです。

2戦目は乃木スピリッツ(島根県)との戦いでした。前半は堅い守りになかなか攻めることができませんでした。後半は自分たちのできること、やるべきことを頑張りました。背も高く、あたりも強い相手に心が折れそうになりながらも、最後まで一生懸命戦いました。負けてしまいましたが、チャレンジし続けた選手の得たものは大きいと思います。

この中国大会の成績は1勝3敗でした。2日間を通して、選手は負けた悔しさやうまくいかない腹立たしさの方が多かったかもしれませんが、それ以上に勝つ喜びや仲間との絆など学ぶことも多かったと思います。また、中国大会に参加でき、あの場所で試合ができたことは大きな自信につながると思います。これから先も成長し続けていく選手たちを応援していきたいです。

今回の中国大会は直前から全国的に寒波が覆っており、鳥取県も雪が積もっていました。めったに見ることのない雪に選手たちも喜んでおり、雪景色の中での中国大会というのも忘れられないものとなりました。

最後に、中国大会に携わっていただいたすべての方々に感謝して、心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

《試合結果》

- 2月23日 西浦ミニバス 37 v s 40 青谷ミニバスケットボールクラブ
- 西浦ミニバス 38 v s 64 島根マリン・ファイターズ MBC
- 2月24日 西浦ミニバス 50 v s 36 浜坂ミニバスケットボールクラブ男子
- 西浦ミニバス 26 v s 40 乃木スピリッツ

